目 次

はじめに 執筆者一覧

放送日程
講座の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7 、
第1章 災害とは 一人間との関わり - ・・・・・・・・11
第1節 自然災害
第2節 濃尾平野での洪水との闘い
1 濃尾平野の成り立ちと生活 2 濃尾平野での洪
水の特徴 3 御囲い堤 4 宝暦の治水
5 明治の治水
第3節 自然災害と防災
1 自然災害の生起と対処 2 防災の目標
3 防災のレベル 4 防災基準・防災施設の基準
5 総合防災(総合治水)
第4節 人間活動と防災
1 防災ポテンシャル 2 災害・情報・災害文化
3 社会のシステム 4 まとめ
第2章 社会の発展と災害の関わり
はじめに
第1節 自然科学と社会科学の「出会い」
第2節 人口爆発
第3節 農業活動による災害
第4節 技術進歩の思わざる効果
おわりに

第	3	章	災害の事例と課題47
	は	じめい	ž
	第	1節	地震災害の事例
			1 1948年福井地震 2 1995年兵庫県南部地震
			3 地震防災の課題
	第	2 節	地盤災害の事例と課題
			1 福井県越前海岸国道での岩石崩落 2 防災上の
		Ĩ	果題
	お	わりり	٢.
第	5 4	章	日本列島の成り立ちと地震・火山災害69
	は	じめに	こ
	第	1節	地震災害
			1 陸地の形成と地震 2 地震のメカニズムと日本
		7	列島の形成 3 地震災害 4 地震の恵み
	第	2 節	火山災害
			1 陸地の形成と火山 2 日本列島の形成と火山
			3 火山災害 4 火山の恵み
	お	わり	E
贫	§ 5	章	地域の実情に応じた地震・火山防災の研究87
	第	1節	何故、「地域の実情に応じた防災」なのか?
	第	2節	日本海東縁のプレート境界型地震 によるリスク
	第	3節	活断層による内陸型地震のリスク
	第	4節	被害を最小にするために
	第	5節	被害予測
	第	6節	被害予測の問題点
	第	7節	津波の問題
	笋	8 節	文化と環境を破壊しない防災対策を

第6	章	濃尾平野と活断層105
第	1節	地下の地質と養老断層
	1	平野と山地の境 2 養老断層の活動
第	2 節	濃尾平野を襲った 2 回の大震災
	1	濃尾地震 2 天正地震
第	3 節	繰り返された地盤の液状化
第	4 節	地震に備える
	•	
第7	章	濃尾平野の液状化現象の予測119
第	1節	都市と液状化
第	2 節	液状化被害とその発生メカニズム
	1	l 液状化による被害 2 液状化発生のメカニズム
第	3節	液状化の発生要因とその予測手法
]	l 液状化の発生要因 2 液状化の予測手法
第	4 節	濃尾平野の液状化予測
第	5 節	液状化対策の考え方
第8	章	あの大惨事(伊勢湾台風)を繰り返さないた
	80	に学ぶこと・・・・・・135
は	じめに	ž
第	1節	被害の概況
第	2 節	高潮について
第	3節	伊勢湾台風による潮位の再現確率
第	4 節	愛知・三重両県における台風災害の特色
第	5節	計画潮位を超える高潮の検討
第	6節	高潮氾濫による被災特性
第	7節	避難効果
お	わりし	ž

第9章 わが家の耐震安全性163
はじめに
第1節 兵庫県南部地震について
1 地震の概要 2 強震記録
第2節 兵庫県南部地震による木造建築物の被害分析
1 要 因 2 耐震要素の量(壁量) 3 耐力壁
の配置 4 接合部 5 基 礎 6 屋根等
第3節 安全な住まいをどう確保するか
1 耐震要素としての壁の評価 2 接合金物の適正
な仕様 3 鉄筋コンクリート基礎の義務化
おわりに
第10章 災害に備える救急医療のあり方 ······177
第1節 阪神・淡路大震災
1 ライフライン 2 報道へリコプターの功罪
3 医療機関の被害 4 収容患者の内訳 5 死
亡者の年齢分布と死因 6 死亡場所と死亡時間
7 救急車による患者搬送 8 患者の不均等分布
9 ヘリコプター搬送の問題点 10 医療機関が崩壊
したら 11 病院前救急活動
第2節 地域防災対策ーシステム化されたアメリカの危機管理ー
第3節 防災計画ーわが国の現状ー
第4節 行政の課題
第5節 災害医療と市民の課題

第11章 阪神大震災において、いかに検案を行ったか ····193
はじめに
第1節 兵庫県監察医について
第2節 震災時の死体検案

1	震災直後の検案体制 2	死体検案従事医師
3	神戸市内灘区の検案活動の実	際
第3節	検案結果	
1	兵庫県監察医業務区域内の死	[亡者 2 「焼死」
٤	いう死因について	
第4節	検案活動を振り返って	
1	大規模災害時の日本法医学会	の支援 2 法医学
の	重要性	
第12章	災害後の心のケア	209
はじめに		
第1節	災害は心に何をもたらすか	
1	被災地の状況 2 阪	神淡路大震災
第2節	災害からの回復段階	
1	英雄的な(ヒーロー)段階	2 ハネムーンの段
階	3 幻滅の段階 4 復	[興の段階
第3節	精神科ボランティア活動	
1	「描け、書け、話せ」という	ブーム 2 震災後
の.	心のストレス相談センター	3 これからの災害後
の .	心のケア	
第13章 『	阪神・淡路大震災と新しい役	掛づくり225
はじめに		
第1節	死亡はどこで起こったか	
第2節	救命は可能だろうか	
第3節	救命活動は内か外か	
第4節	交通渋滞とその回避	